

[関西環境リサーチ>会社概要>技術提携>ONP 研究所]

～ここは、当社が 1999 年より技術提携(※)している ONP 研究所を紹介するページです～
(※分析設備と操作スキルを相互に提供)

花粉の化石を分析し、現代に生かす実務拠点



ONP 研究所

代表 大井信夫

～Since 1998.5.1～

花粉分析 業務案内

[代表プロフィール](#)

[業務履歴](#)

当研究所では花粉分析業務を行っております。

花粉分析は、過去の植物が生産した花粉の化石を調べ、過去の植生、環境などを明らかにする手法です。陸上植物の生殖のために大量に生産される花粉はそれぞれの分類群で特徴的な形を持ち、丈夫な膜を持つので、堆積物に取り込まれて長期にわたって保存されます。このため、堆積物を処理する事によって大量に、連続的に化石を得る事ができるのが花粉分析の有利な点です。化石花粉は非常に多くの情報を含んでいます。過去の植生、堆積環境を復原し、それに基づいて過去の気候、地形などの環境を明らかにしたり、これまで得られている多くのデータに基づいて時代を推測することなどが可能です。また、遺跡などでは周辺環境の復原のみならず、堆積物の性格によっては局地的な植生の復原も可能です。たとえば井戸堆積物から井戸のごく周辺の植物や、墓の堆積物から副葬品の花などが明らかになった例もあります。

花粉分析を進めていく上で、現地調査や堆積物の調査による地質学的、地理学的研究はこれまであげたような検討を進めていく上で不可欠です。さまざまな利用法がある花粉分析ですので、どのように利用していくかも担当者の方々と検討を進めていきたいと思えます。

連絡先

〒572-0021 大阪府寝屋川市田井町 21-30
関西環境リサーチ株式会社 気付
(まずはメールにてご一報下さい
／下記アドレスを手打ち願います)

n.ooi@nifty.com

花粉の化石を分析し、現代に生かす実務拠点



ONP 研究所

代表 大井信夫

～Since 1998. 5. 1～

代表者プロフィール

学 歴

昭和 59 年 3 月 京都大学理学部卒業

昭和 61 年 3 月 大阪市立大学大学院理学研究科生物学専攻前期博士課程修了

平成 2 年 3 月 同 後期博士課程修了(理学博士)

平成 2 年 4 月～平成 6 年 3 月 大阪市立大学大学院理学研究科生物学専攻研究生

平成 6 年 4 月～平成 8 年 3 月 京都大学生態学研究センター研修員

学位論文 最終氷期後半の近畿地方内陸盆地の植生史

原著論文 主著 10 本以上

【1例】

Ooi, Nobuo.1996. Vegetation history of Japan since the last glacial based on palynological data. Japanese Journal of Historical Botany 25:1-101.

(大井信夫. 1996. 花粉分析に基づいた日本における最終氷期以降の植生史. 植生史研究 第 25 巻 p1-101)

日本列島で行われた既存の約 2300 地点の花粉分析を検討した結果、1757 地点から 3748 層準の花粉群の統計処理を行い、最終氷期以降の植生史を議論した論文。論文リスト、データをすべて付録 CD に収録している。

学会発表 20 本以上

所属学会 日本植生史学会、日本生態学会、日本花粉学会、日本第四紀学会

自 宅 京都府に在住

花粉の化石を分析し、現代に生かす実務拠点



ONP 研究所

代表 大井信夫

～Since 1998. 5. 1～

業務経歴（開所前のものを含む）

国内（年代順不同）

北海道美唄湿原の植生史
東京都中野区江古田遺跡の花粉分析
福井県中池見湿原の更新世堆積物の花粉分析
岐阜県大垣市上石津町の東海層群の花粉分析
三重県、北勢町の地質調査に伴う花粉分析
大阪湾周辺ボーリング調査の花粉分析
兵庫県板井・寺ヶ谷遺跡の古植生復原
淡路島、野島断層調査に伴う花粉分析

海外（年代順不同）

新疆ウイグル自治区ニヤ遺跡学術調査花粉分析
フィリピン、マニラ島北部カガヤン川下流の遺跡発掘に伴う古環境復原
ネパール、カトマンズ盆地の第四紀花粉分析

[ONP 研究所トップ](#)